

華やぎだより

2017年 秋号 号外



「歯の大切さ」について 講習会をしました。



9月6日(水)、松尾由佳様(歯っぴらば・口腔機能管理認定歯科衛生士)をお招きして、「歯の大切さ」について、講習会を開いて頂きました。大変役に立つ内容で、ご利用者様、スタッフ共に興味津々に聞いていました。ゲームを交えて、楽しく学ぶことができました。

誤嚥性肺炎

・口腔内の細菌などが気管にはいって発症する病気です。特に、体力の弱っている高齢者に多くみられます

原因は、飲み込む力の低下と口の中の清掃不良です。原因菌は、歯周病菌といわれています。



口腔内を清潔にすることで、誤嚥性肺炎や認知症等の様々な病気を予防する事ができ、長寿を招くとのことです。うがだけでなく、歯や舌をきちんとブラシで磨く事が大切です。また、飲み込む力の低下を防ぐために、早口言葉や「あいうべ体操」等のご紹介もして頂きました。

「歯を大事にすることが認知症予防になるとは知らなかった」「これからちゃんと歯磨きします」とご利用者様の感想も聞かれました。



口を大きくあ〜い〜う〜べ〜と開きしめます。練習でせう。できるだけ大きな声で、声の出る方がやりやすいです。一日最低30セット(あいうべ、あいうべ)やってみてください。



ご利用者様より松尾先生へ、感謝状をお贈りさせて頂きました。

松尾先生
素敵なお話
ありがとうございました。

勉強会の様子



華やぎでは、毎月のスタッフ会議の中で勉強会を開き、介護技術の向上や知識習得を目指しています。今回は、その一例をご紹介します。

〈褥瘡について〉

9月の勉強会では、スタッフの山村が講師となり「褥瘡について」の勉強会を致しました。



「褥瘡はどうしてできるのか？」
「褥瘡予防について」「体位変換について」等、実技を交えて学びました。

褥瘡の出来ない体作りのためには、まず寝たきりにならないことが重要です。しっかり栄養を取ること、転倒予防のため下肢筋力低下を防止すること。これからも華やぎで歩行訓練や体操を頑張りましょう！！



華やぎでは今までも、「認知症について」「音楽療法について」また「介護保険について」等の様々な勉強会を行ってきました。また、外部の研修にも参加し、日々介護スキルの向上を目指しています。

これからもご利用者様、ご家族様に喜んで頂けるよう、日々勉強していこうと思います。

華やぎからのお願い

華やぎではボランティアの方を募集しています。踊りや歌など日頃の成果を披露されたい方、将棋やオセロ、園芸等ご利用者様と一緒に楽しんで頂ける方をお待ちしています。

詳しくは 華やぎ 0744-20-1148 まで

